

[スキー] 全日本

クロスカントリー・チームスプリント6キロ 大森・下平ペア優勝 アルペン大回転 木田2位、安田3位

全日本スキー選手権が各地で行われ、スキー部女子が健闘をみせた。

3月5日から8日まで、札幌市の白幡山競技場で行われたクロスカントリー競技(スプリント)のチームスプリント6キロで大森菜保子(経済3・花輪高)、下平恵理華(商3・飯山南高)ペアが見事優勝を飾った。

1キロスプリントでも2位の大森は「1キロスプリントは優勝を狙っていただけに悔しい」と話したが、団体については大森、下平ともに「優勝という目標を達成できてよかった」と語った。

また、アルペン競技(2月27日、岩手県雫石スキー場ほか)では、スーパー大回転で木田江里乃(経営2・北海学園札幌高)が2位、安田かずみ(経営4・歌志内高)が3位入賞を果たした。木田は「得意種目だったので結果を出せてよかった」と語り、安田は「優勝を狙っていたので悔しい」と話した。

(新海 城生・経済3)

[スキー／スピードスケート] 長野かがやき国体

クロスカントリー・5キロクラシカル 大森が初優勝

1月26日から2月22日まで行われた国民体育大会冬季大会「長野かがやき国体」で多くの専大選手が活躍をみせた。

【スキー】

成年女子A(18歳以上24歳未満)5キロクラシカルで大森菜保子(秋田県代表)が初優勝を遂げた。

同種目では下平恵理華(長野県代表)が3位に入賞。また、女子4×5キロリレーで下平が2位、大森が4位、男子4×10キロリレーで藤井昌弘(経営2・十和田高=秋田県代表)が3位と、各県の入賞に貢献するなど、クロスカントリー陣の健闘が光った。

アルペンでは成年女子A女子大回転で小野塚彩那(商2・湯沢高=新潟県代表)が4位、木田江里乃(神奈川県代表)が5位となった。

【スピードスケート】

成年男子2000メートルリレーで今野陽太が神奈川県代表として出場し、6位入賞に貢献した。

[水泳] ジャパンオープン2008

岩崎100メートル自由形で圧勝

2月23、24の両日、ジャパンオープン2008(日本短水路選手権水泳競技大会)が東京辰巳国際水泳場で行われ、岩崎優(経営4・湘南工大附属高)が100メートル自由形で優勝を果たした。

予選を1位で通過し、決勝に臨んだ。この種目には今大会の50メートル、200メートルの優勝者も出場していたが、スタートから先頭を譲らず、54秒64でゴールした。50メートル自由形では1位にわずか0秒01及ばず2位、200メートル自由形でも2位となった岩崎は「50メートル、200メートルはともに2位だったが、100メートルは日本記録を狙って積極的に泳ぐことができた。この種目はどうしても勝ちたかったので、うれしい」と話した。

また、200メートル自由形に出場した池永早弥佳(法2・東京立正高)も6位入賞を果たした。

(庄司 亮介・文1)

[スピードスケート] 全日本選抜

今野1500メートルで2位

全日本選抜スピードスケート競技会が2月22日から24日まで、盛岡市岩手県営スケート場で行われ、男子1500メートルで、今野陽太(経営3・白樺学園高)が1分56秒73で2位となった。「あまり調子は良くなかったが、1500メートルに関しては2位で表彰台に上がったので良かった」と話した。今季最後の大会を終え、「この3年間では最高のシーズンだったので、来年につながると思う」と今シーズンを振り返った。

また、1500メートルで及川一也(経済2・釧路北陽高)が8位、5000メートルで蓑田翔(経営1・白樺学園高)が7位、1万メートルで道下雅史(経営3・白樺学園高)が6位だった。



▲今季、安定した滑りを見せた今野

(佐山 竜太・経済1)

日本学生ハーフマラソン／三浦国際市民マラソン

日本学生ハーフマラソン 井上が健闘、準優勝

トップに1秒差 自己ベスト更新

3月9日、立川市の昭和記念公園で日本学生ハーフマラソン大会が行われ、井上直紀(商2・報徳学園高)が1時間3分32秒で準優勝を果たした。



終始先頭集団に位置し、ラストまでペースが乱れることはなかった。惜しくも1秒差で優勝には届かなかったが、自己ベストを14秒更新する快走に「まずまずの結果です。自分のペースで押していけた。今後も自分が核となってチームを引っ張っていきたい」と語った。加藤覚監督は「表情が良かったので、いけると思った。良い練習ができたからこそ結果に結び付いた」と称賛した。

(久田 照喬・商1)

三浦国際市民マラソン ハーフで柴内が優勝

また、三浦国際市民マラソン(3月2日、三浦シーサイドコース)のハーフの部で柴内康寛(経営4・横浜高)が優勝した。

「専大のユニフォームを着た以上は下手な走りにはできないと思った。タイム(1時間11分52秒)は良くなかったが、招待選手として、呼んでくださった方々の期待に応えられて良かった」と話した。

(松本 かおり・文2)

東都大学野球春季リーグ戦(2部)日程

9日開幕

4月9日(水)國學大ー専大(10:00)

10日(木)専大ー國學大(12:30)

14日(月)国士大ー専大(10:00)

15日(火)専大ー国士大(12:30)

28日(月)中大ー専大(12:30)

30日(水)専大ー中大(10:00)

5月7日(水)東農大ー専大(12:30)

8日(木)専大ー東農大(10:00)

19日(月)専大ー拓大(12:30)

20日(火)拓大ー専大(10:00)

◇神宮第2球場で開催

◇雨天、その他は順延

◇神宮テレホンサービス 電話 03(3401)8770

[レスリング] デーブ・シュルツ記念国際大会

稲葉55kg級5位

2月8日から10日まで、米国コロラドスプリングズで、デーブ・シュルツ記念国際大会が開催され、学生選抜チームの一員として稲葉泰弘(経営4・霞ヶ浦高)が男子フリースタイル55kg 級に出場。順調に勝ち進み、3回戦ではアテネ五輪銀メダリストから白星を挙げ、5位入賞を果たした。

グレコローマンスタイル96kg級に出場した北村克哉(商4・日本工大付東京工高)は1回戦で敗れた。(庄司亮介・文1)

第44回リーダーズキャンプ

主将・主務100人が参加

リーダー意識の向上 各部門の親睦を深める

第44回専修大学体育会リーダーズキャンプが、3月5、6の両日、熱海市の「熱海後楽園ホテル」で行われた。体育会各部の主将・主務約100人が、講演会や実習を通してリーダーとしての意識の向上を図り、また各部門の親睦(しんぼく)を深めた。

初日の講師は昨年、常総学院高から専大松戸高の野球部監督に就任した持丸修一氏。リーダーとしての在り方を分かりやすく論じた講演は、新リーダーたちの心を引き付けた。2日目は今年2月に現役を引退し、7人制ラグビー日本代表監督に就任した村田互氏(平2文・ラグビー部OB)が講演。専大での思い出を交えながら、今なお挑戦し続けるラグビー人生の経験を語り、自分の可能性に懸け、挑んでいく姿勢の大切さを熱く伝えた。



▲持丸氏の講演に耳を傾ける学生(撮影=松本)

(松本 かおり・文2)

◀国際大会出場選手▶

◇スキー部

高澤 伸(経営1・歌志内高)ジュニア世界選手権【アルペン男子】(2月9日～3月2日＝オーストリアほか)

◇スピードスケート部

山越 竜輔(経済1・孺恋高)2008オリンピックオーバルファイナル国際競技会(3月12～16日＝カナダ・カルガリー)

[卓球部]

創部80周年祝う

卓球部の「創部80周年記念祝賀会」が3月8日、東京都港区の東京プリンスホテルで開催された。日高義博理事長・学長をはじめ、約350人が出席。昨年活躍した部員に緑生会（OB・OG会）の甘竹秀雄会長（校友会長）が記念品を贈るなど、健闘をたたえ、さらなる発展を誓った。

